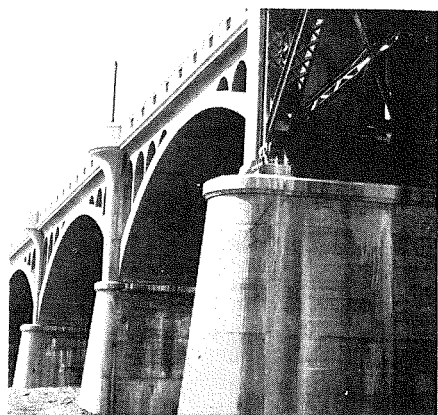
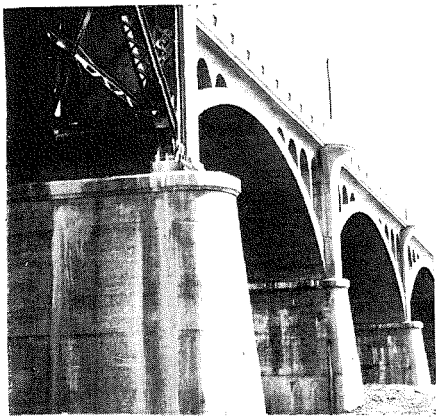
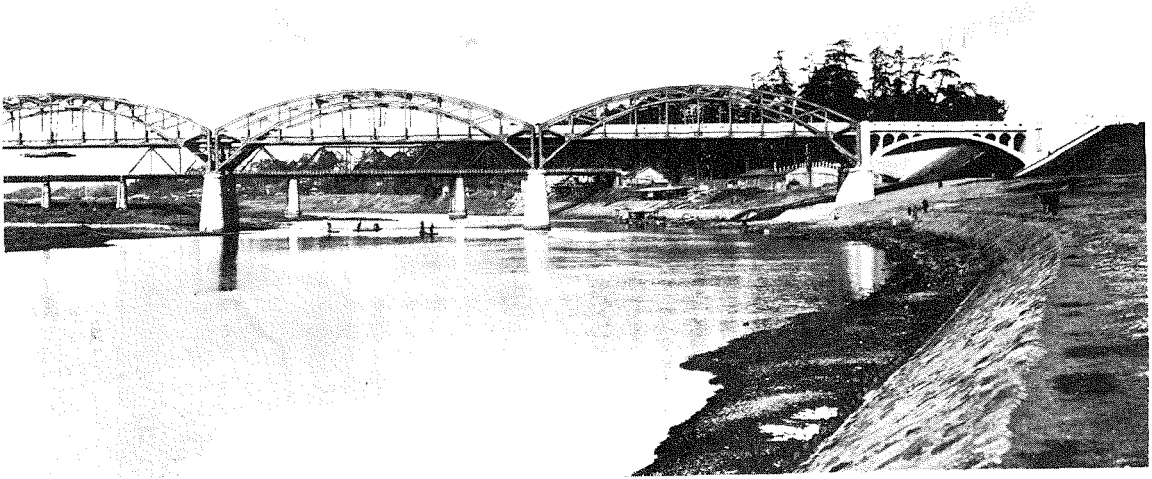


(1) 完成せる丸子橋・其一神奈川
寄の鐵筋コンクリート拱橋側面。



愈々完成した多摩川の丸子橋

風致地區にふさわしい
鋼と混凝土の拱橋



(2) 完成せる丸子橋・其二東京市
寄低水敷の鋼繫拱橋側面。

架設位置と路線・東京市大森區田園調布町と神奈川縣川崎市上丸子町の入會多摩川に架設された橋梁で、東京府側は幅員25mの指定府縣道第5號東京神奈川線がこゝまで連續し、神奈川縣側は目下工事中である。

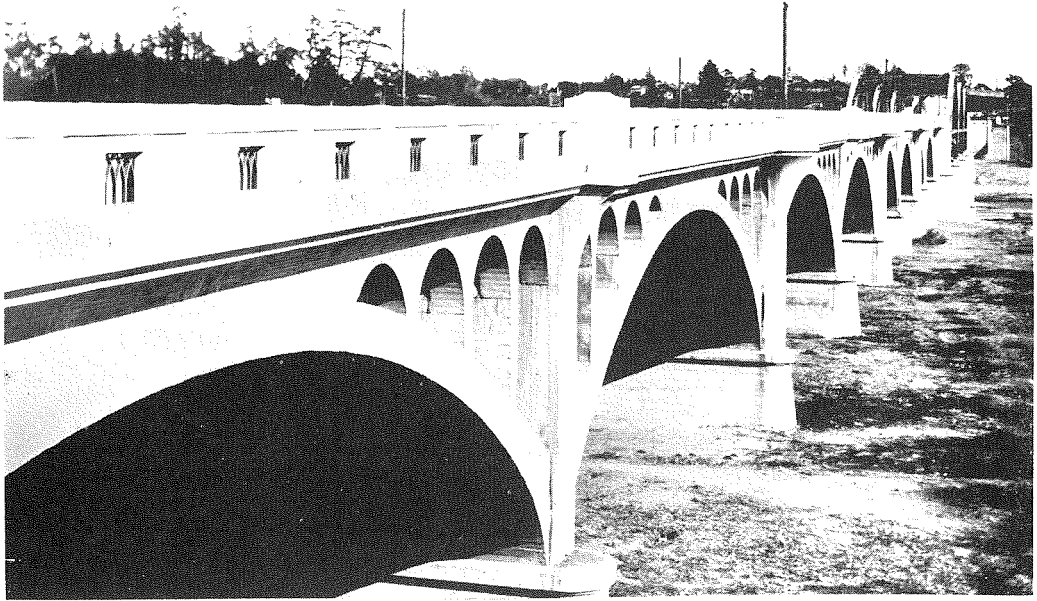
橋梁長及幅員・橋長397.3米、幅員11.0米。

型式・低水敷³徑間は徑間約49.3米の中路式鋼繫拱橋で、洪水敷の10徑間は徑間約2 米

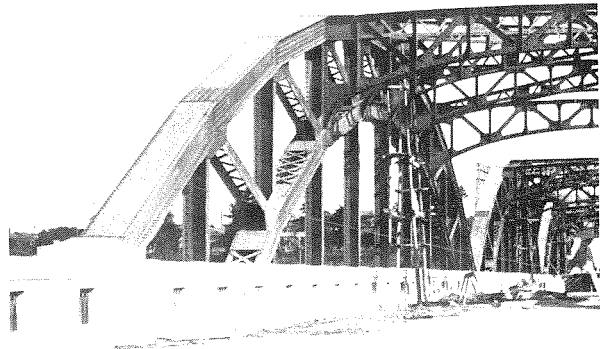
の鉄筋コンクリート拱橋である。

基礎・橋臺2基は何れも杭打基礎、橋脚は第1號(東京側)より第6號まで6基は井筒基礎、第7號より第12號までの6基は杭打基礎である。

勾配・橋梁の縦斷勾配は約270分の1の拋物線勾配で、取付道路が目黒蒲田電鐵の軌道と立體交叉をする關係並に河身が東京府寄

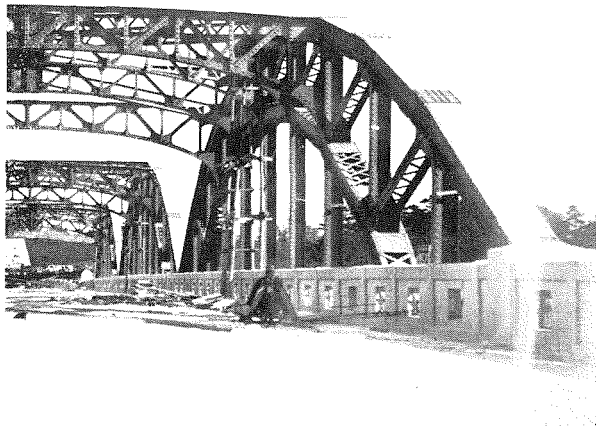
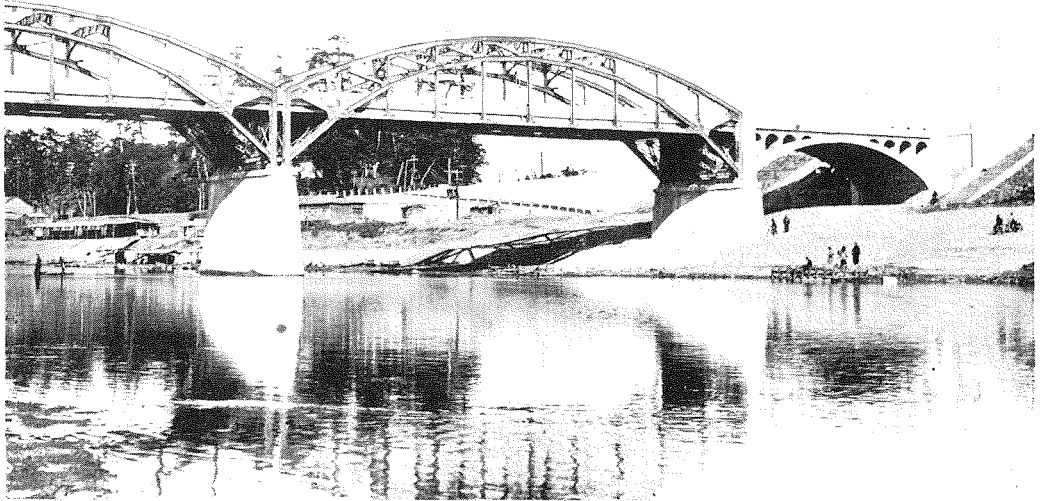


(3) 完成せる丸子橋・神奈川
 縣側より東京府側を望む。



に偏倚してゐる爲片勾配になつてゐる。横
 斷勾配は60分の1の拋物線勾配である。
路床と高欄・路床及高欄共鉄筋コンクリート
 造りで、路床は厚6厘のソリデチツト舗装

を施し、高欄は花崗石様人造洗出仕上。
橋面照明設備・橋長約50米毎に橋面兩側に燈
 柱1基宛を建て、照明とし交通の安全をは
 かる事になつてゐる。



(4) 丸子橋繫拱橋の一部と連絡道路。

(5) 丸子橋繫拱橋正面。

工事・工事は第一期及第二期に分けて施行され、第一期工事に於ては鉄筋コンクリート拱10径間と鋼繫拱橋3径間の下部工事を銭高組の請負で施工、第二期工事は鋼繫拱橋

の鉄部上部工事と橋面舗装工事で、鉄部工事は株式会社横河橋梁製作所の請負により昭和九年九月十五日竣工、床版及舗装工事にかゝり、現在塗装工事中である。